

東カリブ諸国機構（OECS）6か国月間情勢報告（2022年12月）

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

12月の東カリブ諸国機構（OECS）6か国（注）の内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

（注：アンティグア・バーブーダ（アンティグア）、ドミニカ（国）、グレナダ、セントルシア、セントクリストファー・ネービス（セントキッツ）、セントビンセント及びグレナディーン諸島（セントビンセント））

1. 概況

（ドミニカ）6日に実施された総選挙でスケリット首相率いる与党ドミニカ労働党（DLP）が21議席中19議席を獲得して勝利。同首相は2名の無所属当選者や野党統一労働者党（UWP）と対話をしていく用意があると述べた。

（セントルシア）ピエール首相は11月28日から12月2日まで台湾を国賓訪問。蔡総統との会談等。同首相にとって首相として初めての訪台。また、日本の無償資金協力で建設されたカル・デ・サック橋梁の完成式が行われた。

（アンティグア）9千万ドルをかけた港湾の再開発が中国と共同で実施された。東カリブ地域の積み替え拠点となる。また、ブラウン首相は1月18日に総選挙を実施すると発表。

（セントキッツ）ネービス島議会選挙で市民有志運動（CCM）が5議席中3議席を得て僅差で勝利し、3期連続で島内行政を担うことになった。ブラントリー長官（CCM党首、前外相）も当選。

（地域）小島嶼開発途上国の中でGDPを上回る負債を抱えている上位10か国にはバルバドス、スリナム、ベリーズ、ドミニカ、ジャマイカ、アンティグアの6か国が含まれる。また、米国政府はアンティグア、ドミニカ、グレナダ、セントルシア、セントビンセントの5か国がコロナ・ワクチンに対して躊躇していると述べた。

2. 内政

（1）新型コロナウイルス

●（1日セントビンセント報道）最高医療責任者のカイザービーチ博士は、1名がワクチン接種の結果死亡した可能性があると法廷で述べた。

●（5日OECS報道）11月29日、米国政府はユニセフおよび東カリブ諸国機構（OECS）委員会と協力して報告書を発表した。アンティグア・バーブーダ、ドミニカ国、グレナダ、セントルシア、セントビンセントおよびグレナディ

ーン諸島の5つの東カリブ諸国がワクチンに対して躊躇していると述べている。

●（19日セントルシア報道）保健省は、クリスマス・シーズンに向けてワクチン接種により感染蔓延を減らすよう国民に促した。

●（22日セントルシア報道）コロナ感染拡大が女性や少女に対する犯罪を増加させたとの報告を受けて、WHOは、原因をより適切に特定し、犯罪行動を抑えるプロジェクトに着手した。

（2）その他内政

●（1日ドミニカ報道）無所属候補者7名が、自らの考えをマニフェストとして発表。総選挙に参加する唯一の野党チーム・ユニティ（TUD）もマニフェストを発表したが、与党ドミニカ労働党（DLP）は未だ発表していない。

●（1日、4日アンティグア報道）ブラウン首相は、政府は給与、年金、社会保障費を支払い、全ての公務員は相応の金額を受け取っている、他方で未払い金と昇給を来年に延期する可能性があると言明し、公務員は失望している。数週間前、同首相は12月までに未払い金と昇給を支払うと約束していた。

●（2日ドミニカ報道）ドミニカ政府の招きにより、カリコムは6日に実施される総選挙への選挙監視団を派遣する。

●（3日セントキッツ報道）ドリユー首相は、2人の国民を外交官として任命。クラクストン女史（Hadiya Claxton）とジャステ氏（Calvin St Juste）で、彼らはセントキッツ島出身で、米国に本社を置くグローバル企業の幹部。政府の「投資特使」に任命され、首相と政府を支援し、助言することになる。分野としては、政府収入源の拡大、新たな収入源の開拓等が含まれるが、これらに限定される訳ではない。

●（5日セントキッツ報道）12日に実施されるネービス島議会選挙に12名が立候補。ブラントリー・ネービス島行政長官（市民有志運動（CCM）党首、前外相）も出馬している。

●（6日、7日ドミニカ報道）総選挙でスケリット首相率いる与党ドミニカ労働党（DLP）が21議席中19議席を獲得して勝利。同首相は2名の無所属当選者や野党統一労働者党（UWP）と対話をしていく用意があると述べた。また、7日、サバリン大統領の下で同首相の就任宣誓式が行われた。

●（8日、12日セントルシア報道）ピエール首相は、国内における前例のない犯罪状況を強く非難。協調的かつ全体的な「犯罪との戦い」を繰り広げようと考えていると述べた。

●（8日アンティグア報道）内閣は、11月の給与、賃金、年金、社会保障の収益がすべて11月30日以前に受給者に引き渡されたと発表。社会保障年金はこれで満額となり、受給者は早期の支払いを喜んでいる。

- （８日セントキッツ報道）１２日に予定されているネービス島議会選挙に向けて、海外有権者が再び注目を集めている。長年にわたり、海外有権者の存在はネービス島における選挙結果を決定する主要因の一つと考えられている。
- （１１日ドミニカ報道）スケリット首相は、「一つの国民、一つのビジョン、一つのドミニカ」を目指すと述べ、先の総選挙に出馬した無所属候補およびチーム・ユニティ・ドミニカ（TUD）のメンバーと対話の機会をもった。
- （１２日アンティグア報道）与党アンティグア・バーブーダ労働党（ABLP）は総選挙に向けた選挙キャンペーンを１２月１９日に開始する。
- （１２日、１７日ドミニカ報道）スケリット首相は、６日の総選挙における勝利を受けて新閣僚を発表。野党統一労働者党（UWP）は、２３名もの閣僚に加えて３名の内閣顧問を任命するのは、国の経済規模から見て多すぎると批判。
- （１３日セントキッツ報道）ネービス島議会選挙（１２日）で、市民有志運動（CCM）が５議席中３議席を得て僅差で勝利し、３期連続で島内行政を担うことになった。ブラントリー長官（CCM党首、前外相）も当選。残る２議席はネービス改革党（NRP）候補者が当選。
- （１９日アンティグア報道）ブラウン首相は、１月１８日に総選挙を実施すると表明。候補者受け付けは１２月２８日。
- （２０～２１日ドミニカ報道）先の総選挙で無所属で当選したジェスマ・ポール議員が国会野党代表として宣誓。無所属で当選したもう一人の議員（アンソニー・チャールズ議員）と協議して決定したもの。同議員は、任期中ドミニカ政府と協力して選挙区と国家に進歩をもたらすと述べた。
- （２０日セントルシア報道）今週初め、セントルシアの賊がフランス船に乗っていた観光客とポーランド人船長を襲撃したと報じられた。ある海事コンサルタントは、地元住民や観光客に対する襲撃事件に懸念を示し、島が危険にさらされていると警告した。
- （２６日セントビンセント報道）ゴンサルベス首相は、同国の殺人事件の多くがコカイン取引に関連しているとの考えを示した。
- （２９日ドミニカ報道）野党統一労働者党（UWP）のフォンテイン党首は、ドミニカの人々の利益になるならスケリット首相と会談し、多くの問題について良い会話をすることができると述べた。

３．経済

- （６日付アンティグア報道）アンティグア・バーブーダ政府とドイツ政府は、航空運輸サービスにかかる合意書に署名した。
- （７日付セントビンセント報道）小島嶼開発途上国の中でGDPを上回る負債を抱えている上位１０か国には、GDP比１５７％の負債を抱えるバルバドス

をはじめとして、スリナム、ベリーズ、ドミニカ、ジャマイカ、アンティグア・バーブーダの6か国が含まれる。

●(8日付セントルシア報道) 国会は、2023年予算の資金確保を目的として、中国輸出入銀行から2.77億東カリブドル(約1億米ドル)の融資を受けることを可決した。

●(8日付グレナダ報道) 政府は、2023年の投資による市民権(CBI)プログラムによる収入を、2.4億東カリブドル(約8,880万米ドル)と見通し、プログラムの透明性と運営を改善するための措置を講じることを明らかにした。14年の開始以来、同プログラムは7,000人以上の新しいグレナダ市民を生み出した。

●(8日付セントキッツ報道) 政府は、CBIプログラムにより獲得した配当金を、初めて国民に配分することを決めた。ドリュー首相が選挙公約に基づき実施する新政策。

●(8日付セントキッツ政府発表) スイス政府は、ジョセフ・フランシス総合病院に2万米ドルの寄付をした。

●(10日付セントルシア報道) OASは、直近の悪天候による洪水被害に対して2.5万米ドル相当を緊急支援として供与した。

●(11日付ドミニカ報道) カリブ生物多様性基金(Caribbean Biodiversity Fund, CBF)とドミニカ国土保全信託基金(Dominica National Conservation Trust Fund, DNCTF)は、土地海洋資源保護の融資に係る提携合意書に署名した。独開発銀行による支援により可能となる。

●(12日付セントキッツ報道) 台湾技術使節団が農業省に組織培養したパイナップル3,500株を贈呈。

●(13日付セントビンセント報道) ゴンザルベス財務・経済計画・情報技術相は、2023年度予算は、前年度比8.8%増の14億4,500万613東カリブドル(約5億3,468万米ドル)になると発表した。

●(15日付セントキッツ報道) ドリュー首相は、2023年の歳入を9億9320万東カリブドル(約3億6,750万米ドル)、歳出を8億1210万東カリブドル(約3億米ドル)、財政黒字になるとし、2023年は、電力及び上水の供給整備に注力すると述べた。

●(16日付セントビンセント報道) 国会は、2023年予算を前年比8.8%増の14億4589万東カリブドル(約5億3,500万米ドル)とした。2022年9月末時点の債務額は、昨年同期比4.1%増の21億6,656万東カリブドル(約8億167万米ドル)であった。

●(16日付セントキッツ報道) 政府は4つの主要プロジェクトに対する台湾からの資金援助に感謝を表明。農業・漁業・海洋資源、協同組合、起業、創造経済の

分野で300万米ドルを超える資金援助が行われた。

- （17日付アンティグア報道）ブラウン首相は、西インド諸島大学 Five Islands キャンパスの拡張のためにサウジアラビアから8,000万米ドルの融資を得たと発表した。
- （19日付セントキッツ報道）ブラントリー・ネービス島行政長官は、2023年6月に、ネービス島の地熱発電事業の掘削を開始すると発表した。9日、カリブ開発銀行は、地熱発電開発事業に1,700万米ドルの供与を承認していた。
- （21日付セントキッツ報道）CapeAir 航空は、2023年2月15日から月曜日～土曜日は1日1便、日曜日は1日2便でネービス島と米国領バージン諸島に就航すると発表した。
- （19日セントルシア報道）台湾は、9つの地方事業に対する支援として510万東カリブドル(約189万米ドル)の小切手を寄付した。
- （21日付セントキッツ報道）台湾は、3年間で100万米ドルを投資する廃棄物処理及びリサイクル事業の一環で、リサイクル施設の開所式を行った。
- （22日セントルシア報道）15日にカル・デ・サック橋梁の再建完成式が行われた。この気候変動に強いインフラの再建は、日本政府からの15.3億円(約1400万米ドル)の無償資金によって実施された。
- （22日アンティグア報道）9千万ドルをかけた港湾の再開発が中国土木建設会社と共同で実施された。この港湾は、アンティグアが東カリブ地域の積み替え拠点となるという目標の達成に寄与する。ブラウン首相は、同施設が東カリブ唯一のコンテナターミナル港であり、近隣諸国へのサービス提供を可能にすると述べた。
- （28日セントルシア報道）中国はカリコム事務局を通じて、カリブ公衆衛生庁(CARPHA)に対し、実験装置や消耗品を購入するための5万米ドルを供与した。
- （28日セントルシア報道）台湾大使館は、政府情報サービス局(GIS)と国家テレビ局(NTN)に新機器購入のための資金を提供。チェン台湾大使によると、台湾は2011年にGISが新事務所に移転した際に機器購入用の資金を提供しており、今回が2回目の支援。
- （29日付グレナダ報道）11月の来訪観光客数が、2019年同月を17%上回る1.4万人以上となり、単月来訪者数の過去最高となった。
- （30日付セントビンセント報道）Caribbean Travel Movement 社は、2023年1月第2週からセントルシア-セントビンセント間のフェリー運航を開始すると発表した。

4. 外交

- （１１月２８～２９日セントルシア報道）ピエール首相は１１月２８日から１２月２日まで台湾を国賓訪問。蔡総統との会談等を行う。同首相にとって首相として初めての訪台。
- （１日セントキッツ報道）中・高等教育機関の学生１５０人以上が台湾大使館から奨学金を授与された。毎年実施されており、１１月３０日に授与式が行われた。
- （４日セントビンセント報道）キューバのディアス＝カネル大統領がセントビンセントを訪問。ゴンザルベス首相は同大統領の訪問を「象徴的なもの」と評価。また、同大統領は、本年６月の第９回米州首脳会議の際に、米国政府がキューバを参加させないことにゴンザルベス首相が断固反対したことを称賛。
- （８日セントルシア報道）スプリエール総合中学校と台湾市立金城中学校の姉妹校提携に関する覚書が締結された。
- （８日アンティグア報道）１２月２０日に新築された中国大使館が正式に開館する。
- （１２日アンティグア報道）気候変動と国際法に関する小島嶼国委員会（ＣＯＳＩＳ）の共同議長であるブラウン首相とツバルのナタノ首相は、国連海洋法条約（ＵＮＣＬＯＳ）に基づく国家の義務に関する勧告的意見書を国際海洋法法廷（ＩＴＬＯＳ）に提出。海洋温暖化、海面上昇、海洋酸性化等の気候変動の影響から海洋環境を保護・保全するため。
- （１３日セントビンセント報道）ラン台湾大使は、１４０人のビンセント人学生に奨学金を贈呈。台湾は１９９８年以来、１１，０００人以上の学生に奨学金を提供してきた。
- （２０日アンティグア報道）中国・アンティグア外交関係樹立４０周年が、在アンティグア中国大使館の新庁舎お披露目をもって祝賀された。
- （２０日セントルシア報道）中国語コンテストで、２名のセントルシア人が成績優秀者として表彰された。２人ともサー・アーサー・ルイス・コミュニティ・カレッジの学生。